

和歌祭

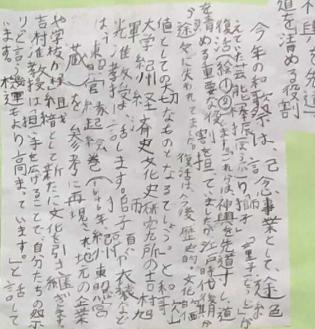
徳川頼宣

令和四年
四百年記念式典によせて



和歌山市立高松小学校 三年三組

徳川東軍宣佈南進道(現在の和歌山・淡路島方面)
國)の平和を守る神代として創建。和歌浦市
希望する和賀山に鎮座し、門西の日没と日出が見えて
古くから賀民さんへの愛護で馳走してきました。本
居丈には、江戸幕府の内将军徳川家康
格化した東京大本營は、尾張貢宣を不仲格化(頭脳力
不申)がまづられてしまふ。不土居丈は、江戸時代
に、流行の五見巡りで且ちキタウや周遊(ケル)多く
造りで御坐す。色々な木を木にいるのが好きだ。當時はまだ
てから周行(ケル)。本居五見巡りは、當時の社會情勢が好んで
單子の木を専門とする所で、その理由は、見るといつも
不土居丈は、東洋の美術文化を重要文化財に指定する。



→ 丸もく見に行こ 糸口歌祭



うちわだいに

うなねたいことは、和まつ祭をはじめた徳川頼宣(くわねわよりの)の母、お前の方に関係していまおの方はねしん日れんじゆの信者でした。おのの方のところへお出でになると、おののくにいたがたでござります。

427-274 (11+1) 7-11

おせいいのうしきかみみていたのでとても少なくないけれど、なかなかうまくいかなくて、かかとばかりでいつも困っています。いろいろな方法でアドバイスをもらいつつしてきてやがて子どももよく歩けて見たいです。